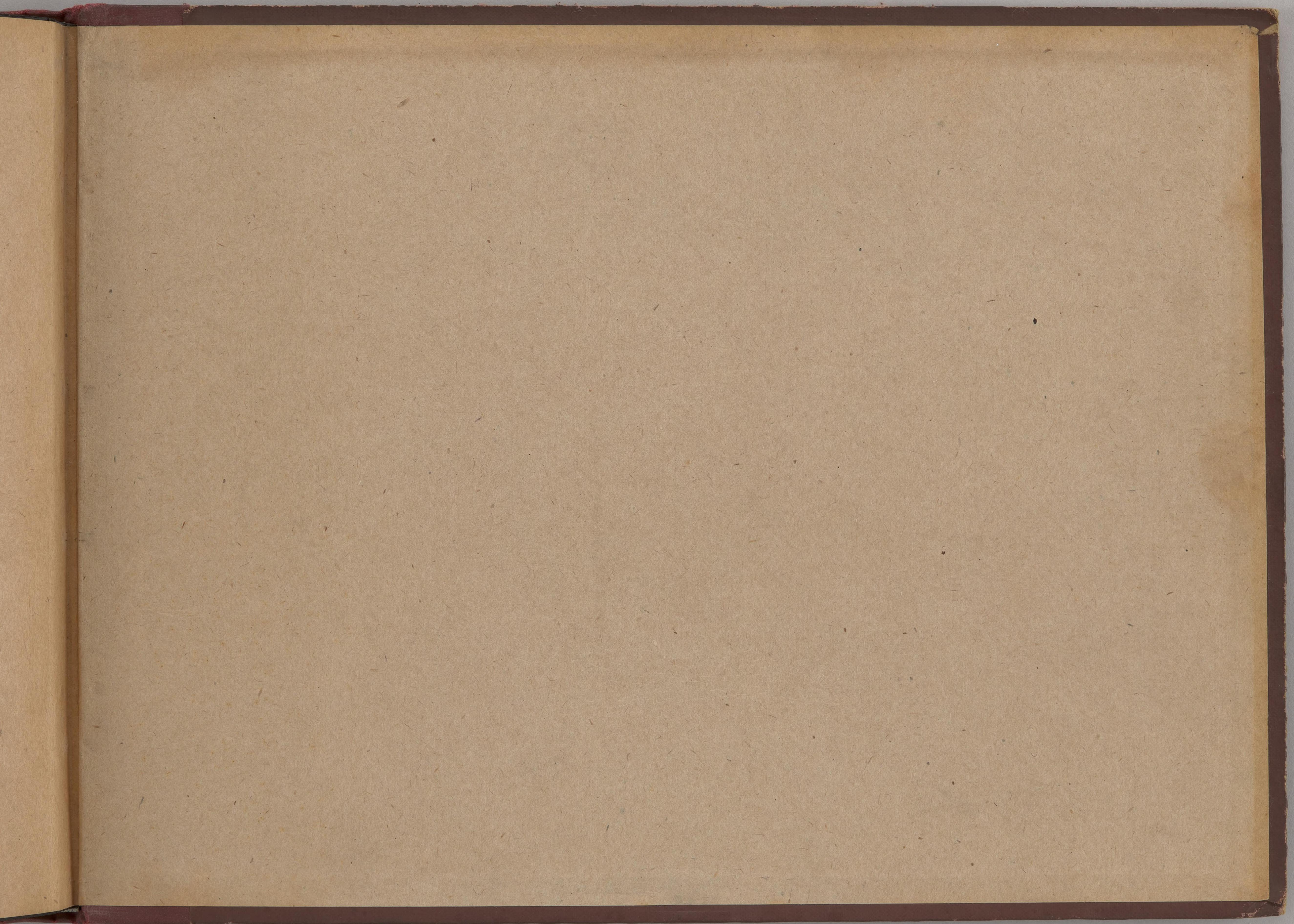


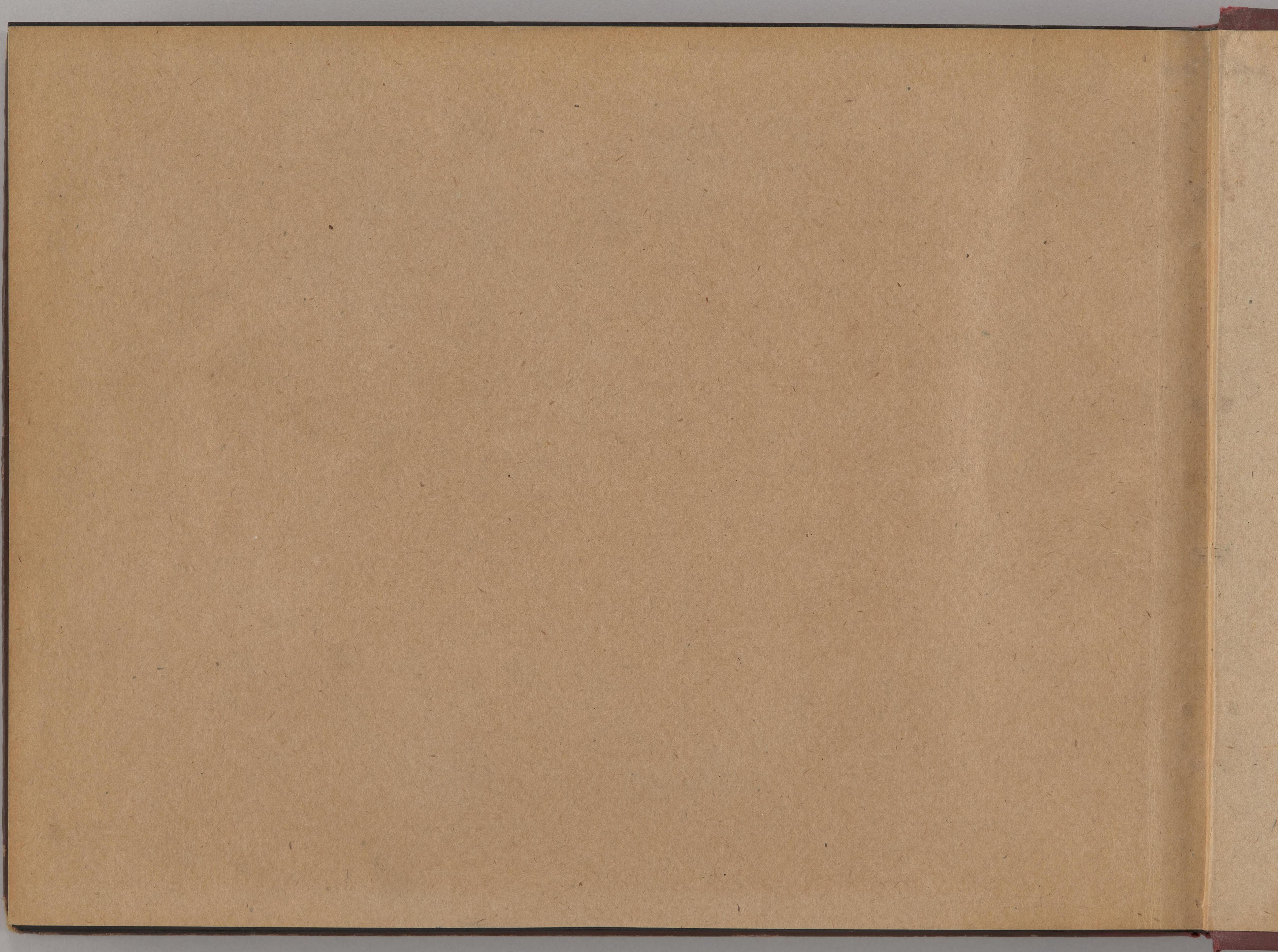
1201100596499

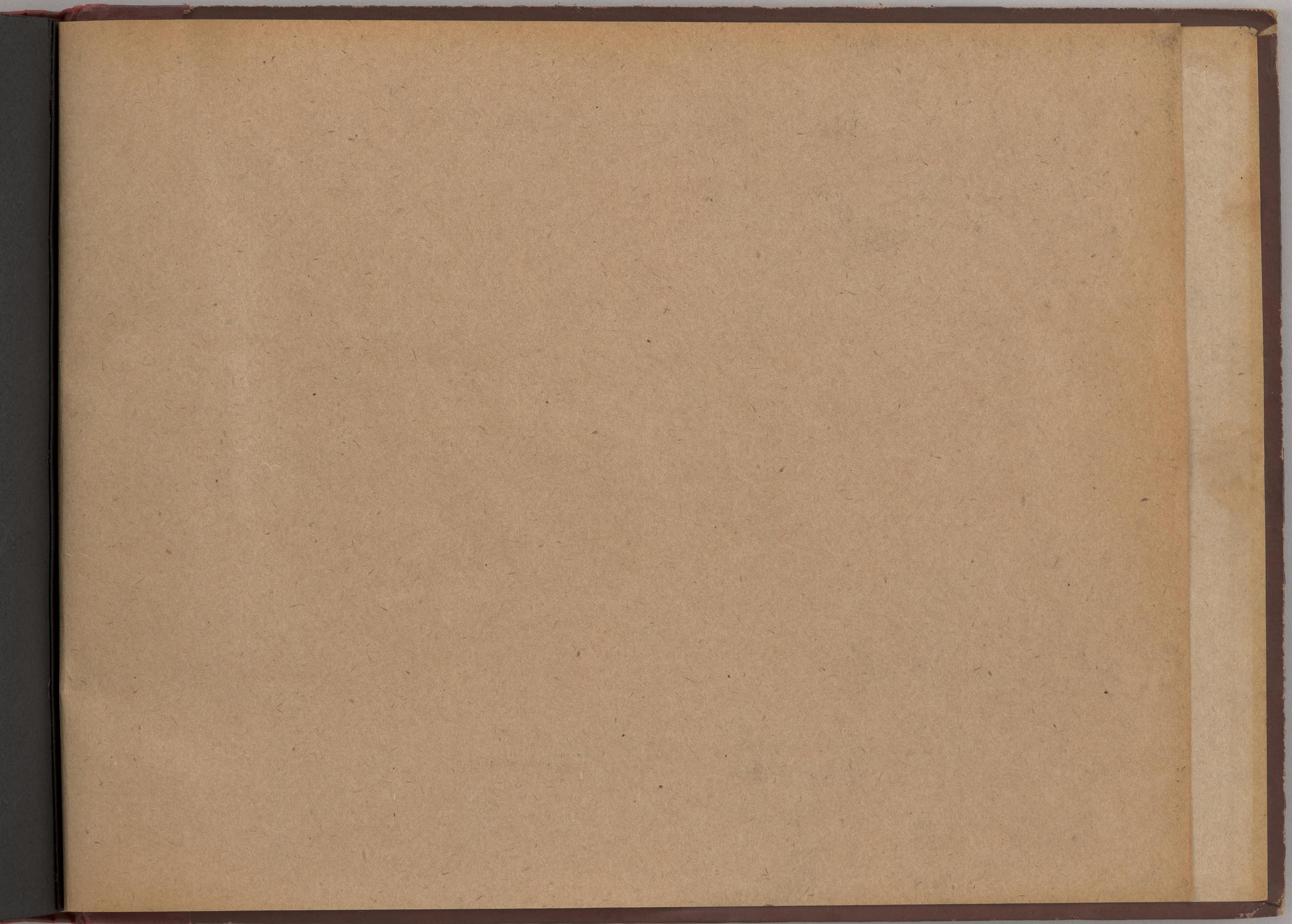
禁電子式複写

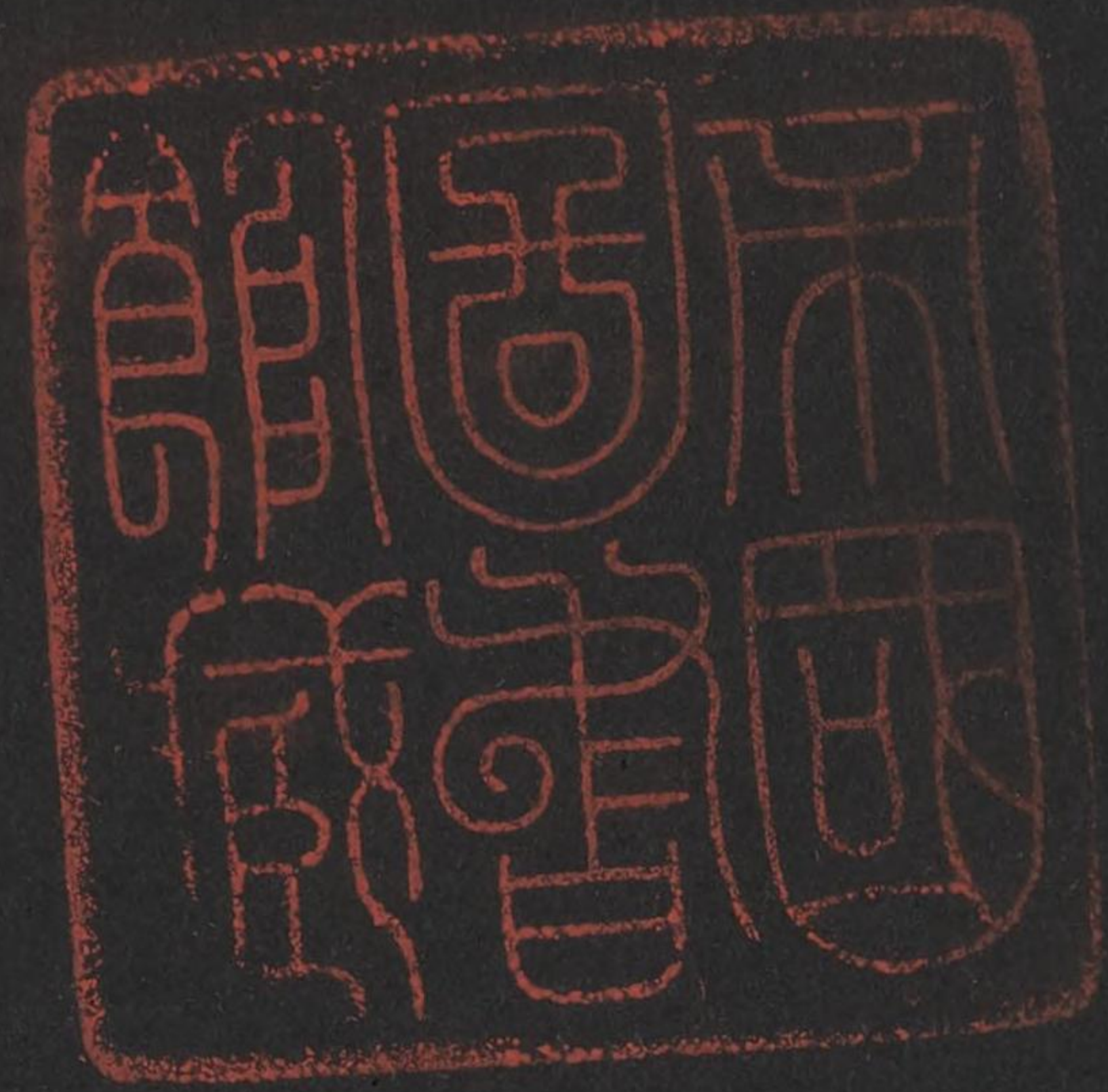


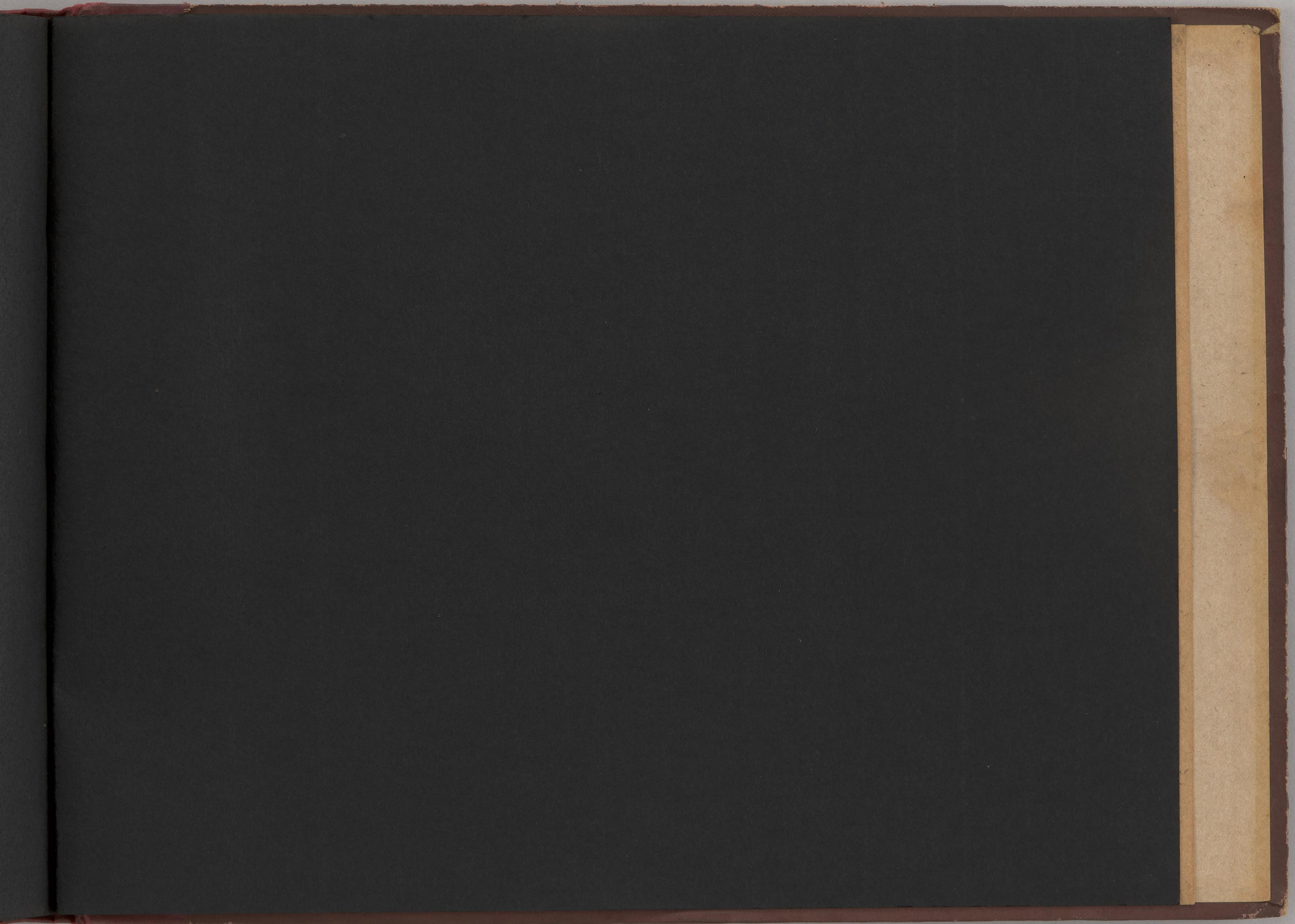
E

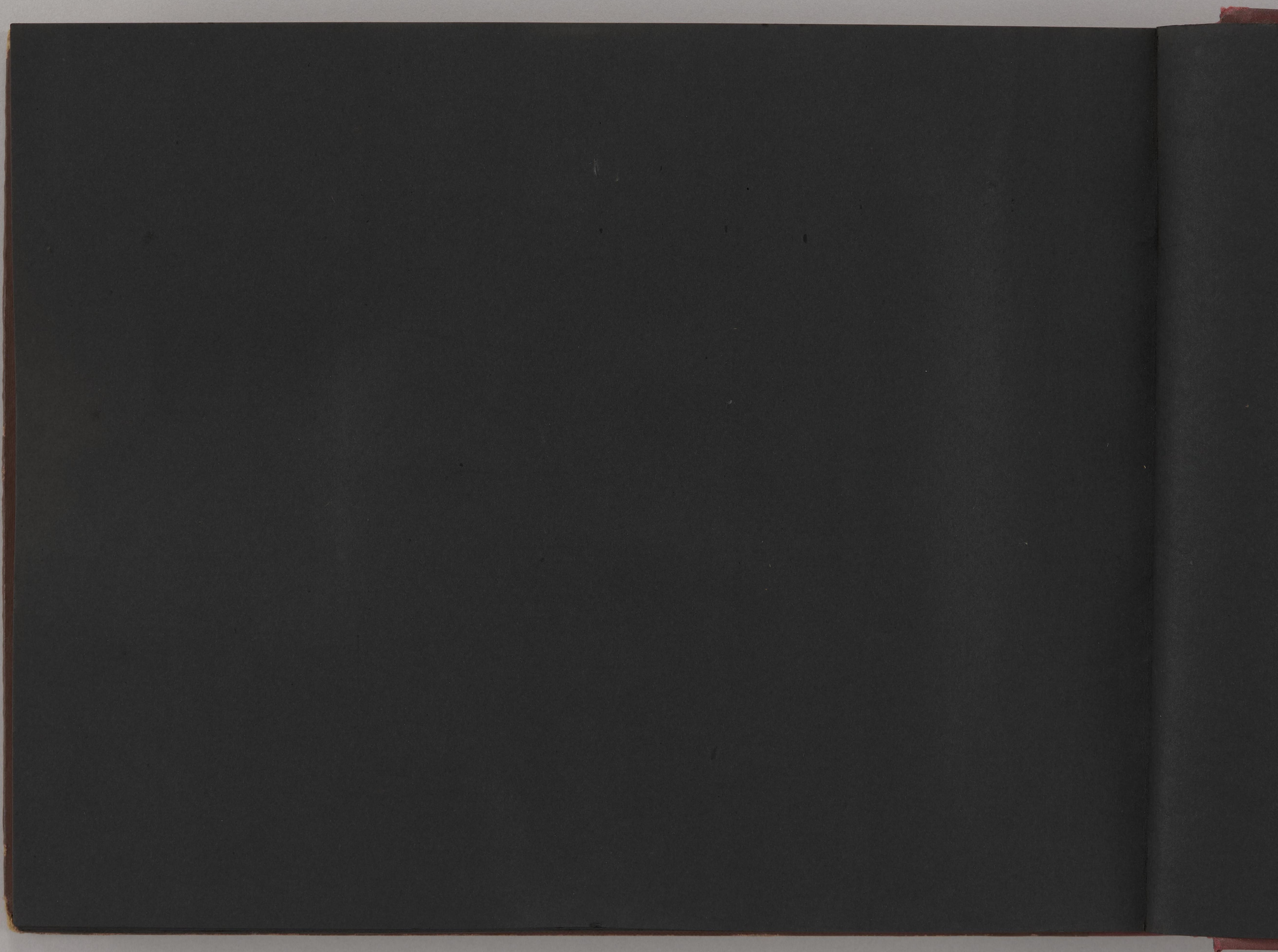












同盟寫眞 支那ニユース 十三年七月一日

注意 支那事變一周年記念日に御使用下さ

二、支那事變發端の地芦溝橋

×××××××××××××××

一、廣東軍事施設に對する爆撃



七月一日午後銀座の某カフェーで出征軍人の
武運長久祈願祭が行はれた時の光景です、事
變下にふさわしい服装をしてずらりと並んだ
のは女の軍隊ではありませぬ銀座某大カフェ
の女給軍です、長期戦下物資需給統制の今
日の錦紗の着物なんかと断然女給制服のトッ
を切つておます、事變一周年記念にはこれで
事變下にふさわしいサイビスをしますと張り
切つておます。寫眞は祈願祭と並んだ制服文
給軍



同盟寫眞

内地ニユリス

第一三號

○義官様伊香保へお成り

(東京) 十三年七月二日

義官様には二日午前八時四分宮城御出門九時十分上野驛御發急行列車にて同十一時廿七分澁川驛御着伊香保御料地内の御殿に成らせら
れた。當分御滞在の御予定と承はる。
寫眞は上野驛にて讀寫



同盟寫眞

内地ニュース

第四一五號

◎湖水化した土浦町

(東京)十三年七月二日
水魔の^暴下^雨に戰慄の四日目を迎へた土浦町
は二日朝^{まで}最高水位より約四尺減水したが
低地區域三千以上は依然獨流渦巻き今や完全
に湖水の一部と化した。寫眞は屏前通り出水
と乗合自動車^を臨時避難所に



同盟

内地 二二

支那事変一周年紀念鏡紙表公大行進

昨年七月七日芦溝橋の不幸射撃事件に由る支那
 事変一周年紀念に當り、我々公大生は、
 迎へんとす。我々公大生は、
 民衆力の結晶を計り、長期戦に對する
 準備の折々を構へ、三月都下学生
 連帯を遂げ、大進進を期す。
 此の日は、我々公大生は、
 の後、九段より行進し、開校の報を
 前に、早稲田、三軒、解部、
 官舎は九段、清和社、表、と、
 進進



④ 軍人法主の祝教

西本願寺の軍人法主大冬光照心貴長は昨年
八月、十月、二月にわたる各宗管長のトランプを
仰いで中世支の将兵慰問に赴き、今春は帰郷後
は金口各地の巡教を徳けしめ、おなじく宗家の
かみで本願寺の市内万五千の同寺の住職
を、新の下に祝教を請ふ留典は帰教か



盟軍
○護國の英靈雨の芝浦に上陸

（東京）十三日午九時廿分御用船〇〇丸で

中南支の戦線に護國の華と散つた英靈五百八

十三柱は四日午前九時廿分御用船〇〇丸で

芝浦に無言の凱旋をした、打續く雨にも抱ら

ず遺跡や熱心を銃後の人々に出迎へられ戦友

の胸に抱かれ同十時から盛大な慰靈祭を執行

後各部隊毎に齋々として市内を行進した。

宮内は芝浦港



◎首相、陸相重要會談
近衛首相と板垣陸相との單獨會談は四日正午
より首相官邸において陸相の關西中國旅行以
來初めての見が行はれ約二時間に亘つて首
面の重要問題について意見の交換を爲した。
宮内省は於首相官邸玄関



同盟爲眞 内地ニユリス

第一一三號

◎日滿伊通商協定調印

(東京) 十三年七月五日
日滿伊通商航海條約
日滿伊通商協定は
三國間に完全なる意見の一致を見たる結果五日
午前十一時在東京滿洲國大使館に於いて各調
印を完了した。寫眞は調印の
後大使とコンテ
イ伯(左はアウリツチ大使)



◎磯谷中將帝都歸還
北支、中文に轉戦して、猶々の武勳を顯した。磯谷廉介中將は梅雨晴れて薄陽射す五日、八時東京驛着列車で歸還した。中將は戰鬪帽姿も頬鬚と征戰行十ヶ月餘の苦闘を陽射しした面にしのばせつつ出迎への各將星と感涙の挨拶交した。寫眞は於東京驛。

◎銀座にモンペイ隊
四日夜の銀座へモンペイ姿の少女群が突如現はれ、歴例的に人目を引いた。木綿袴袴の筒袖にモンペイ、木綿の兵占帯と云ふ非常時型。福島縣大沼實業學校女子部二年生の修學旅行團で、この學校十數年來の制服です。と引率の坂内教諭は言つた。寫眞は豪華モンペイ姿。





河野寫眞ニュース 十三年七月六日

◎海防神戸の水地獄

- 一、阪神三宮驛前に渦巻く泥海
- 一、トラックも埋まる三宮附近の惨状



支那事變一周年
想ひ越す青溝橋と宛平縣城内

×
×
×
×
×
×
×
×

◎日支事變一周年記念日

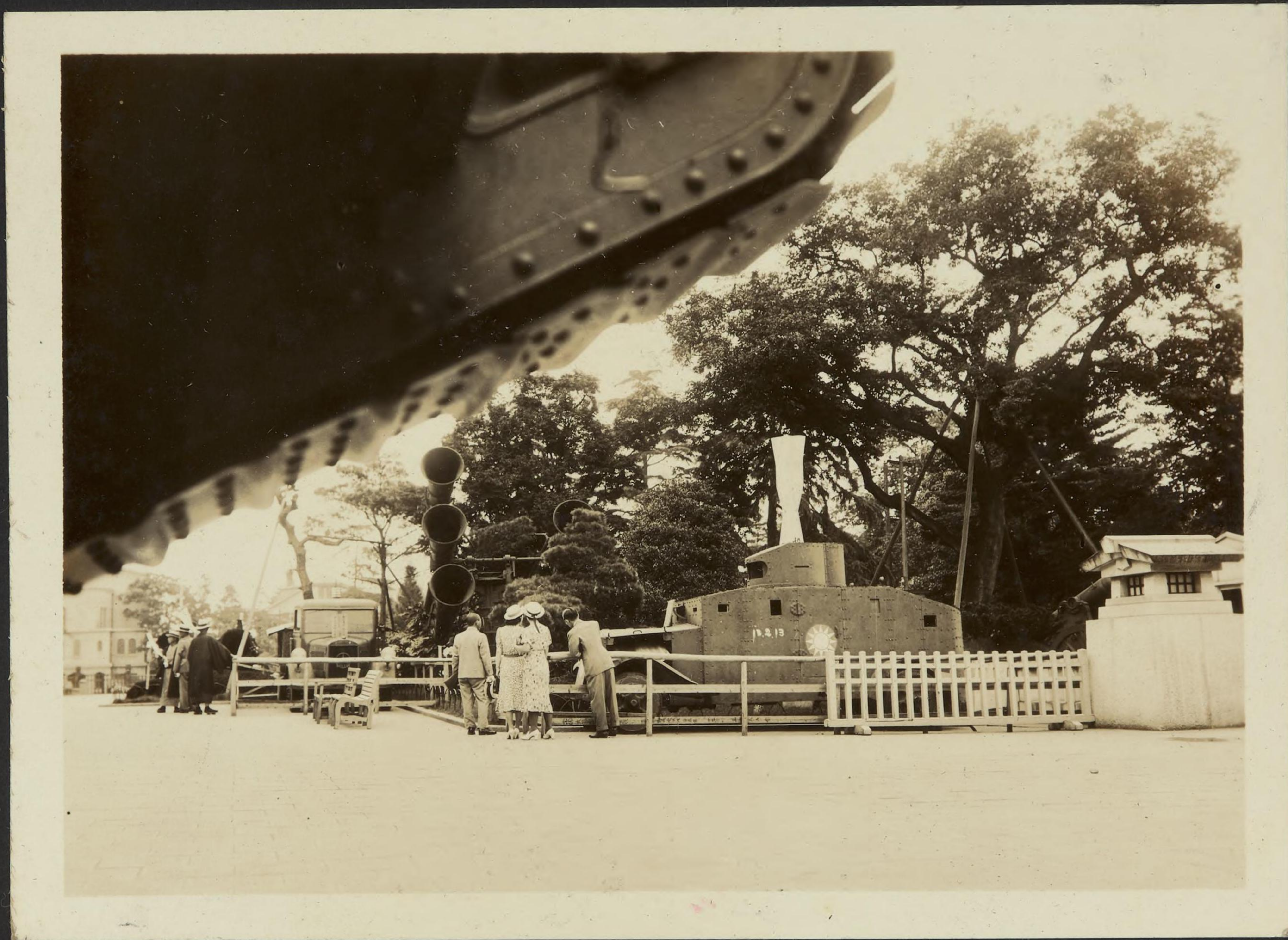
七日國を擧げて

事變一周年記念日は廻つて來た、名實共に

に擧國一致の勢は整ひ長期戦への備へは成つて

戦死勇士に感謝すべく幾多の催しが予定され

てゐる。眞は靖國神社境内の敵戦利品



◎近衛首相決意表明

近衛首相は支那事變一周年記念日を前にして
六日午後三時より首相官邸に於いて記者團と
會見し事變下重大時局に處する首相の決意を
表明し同時に國民に對し長期戦に處する新た
なる一大決意を促す談話を行つた
寫眞に決意表明の近衛首相



同盟寫眞

◎固き銃の護りを示す

事變一周年記念日

(東京) 永三年七月七日

若溝橋における支那軍一兵士の不法射撃に端を發した支那事變は皇國日本の武勳燦として東洋平和の礎に輝やき皇國日本の勢威は世界を震撼させつつけふ七日意義ある一周年記念日を迎へ舉國一致、出征兵士の勞苦を慰び戦歿者の英靈に感謝を捧げ銃後の守りはいよいよ堅きを示す各種の催しが一齊に行はれた

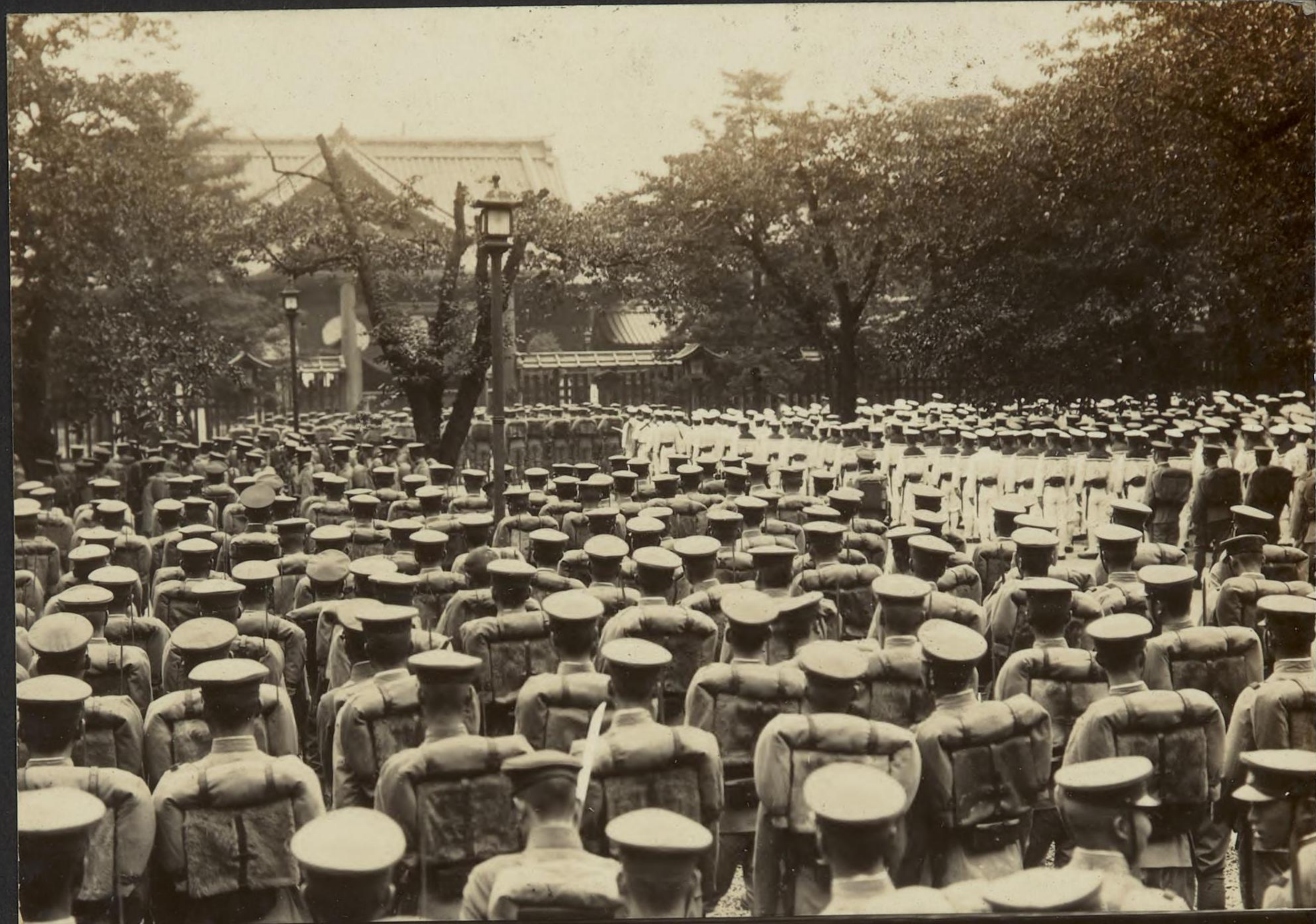
寫眞は

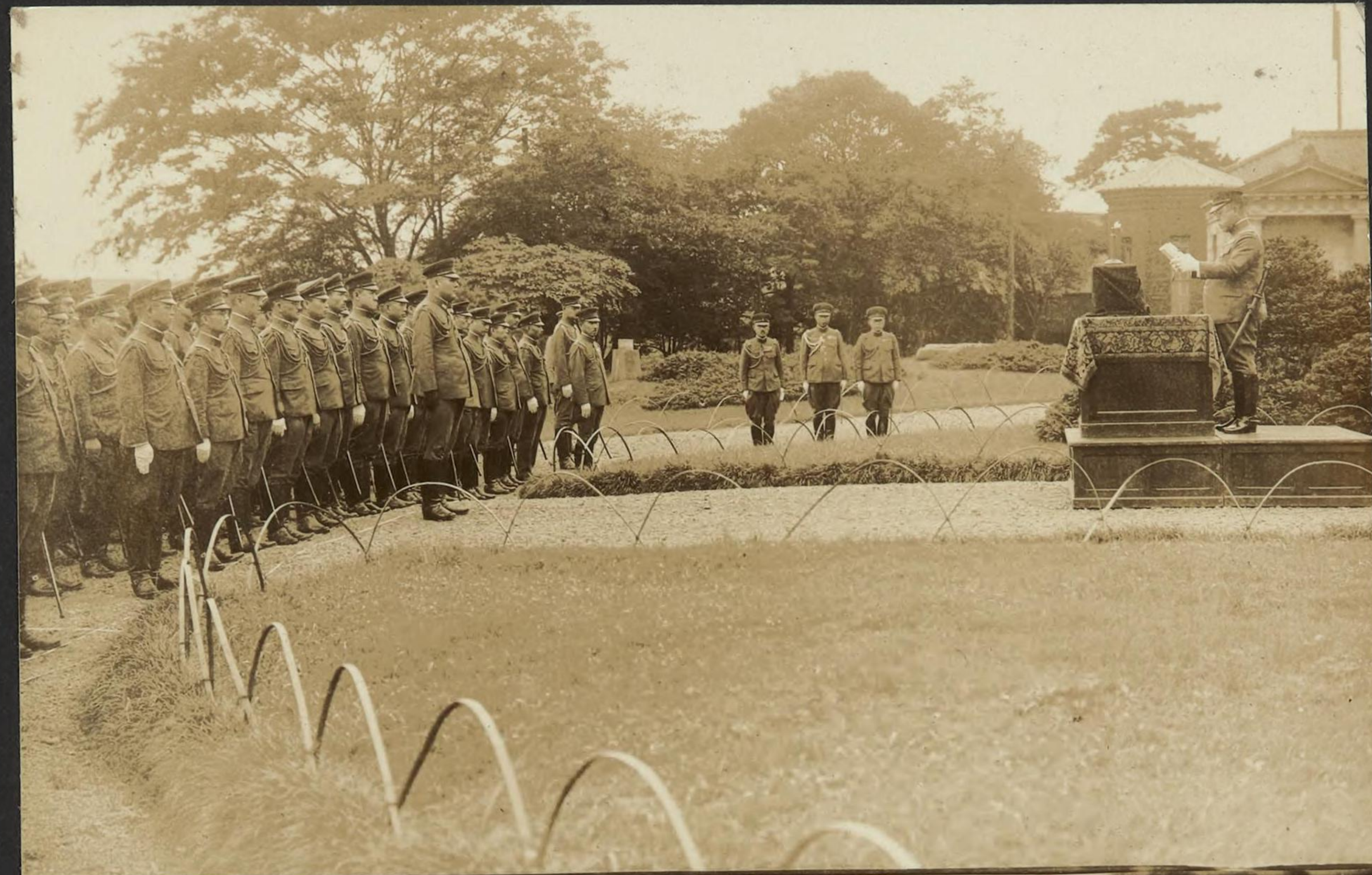
一、陸海軍部隊靖國神社參拜

二、板垣陸相明治神宮參拜

三、勅語捧讀の閑院宮殿下(於參謀本部)

四、日の丸辨當を食べる板垣陸相(於省内食)







同盟寫眞 内地ニユース 第一一四號
◎皇太子殿下葉山に行啓
（東京）十三年七月八日
皇太子殿下には八日御清々しい御服を召され
特別電車にて東京驛御發車、葉山御用邸に行
啓められられた、當分同御用邸に御滞在の後
日光に行啓められたる。
寫眞は東京驛にて謹寫

◎武勳輝く兩將軍參内
徐州大會戦を始め北支各戰線に拮たる武勳
を樹てて去る五日輝やかしく帝都に歸還した
磯谷廉介中將、土肥原賢二中將の兩將軍は八
日午前十時半晴れの參内、天皇陛下に拜謁仰
付けられた。寫眞は兩將軍參内（右磯谷、左
土肥原兩將軍）東車寄にて

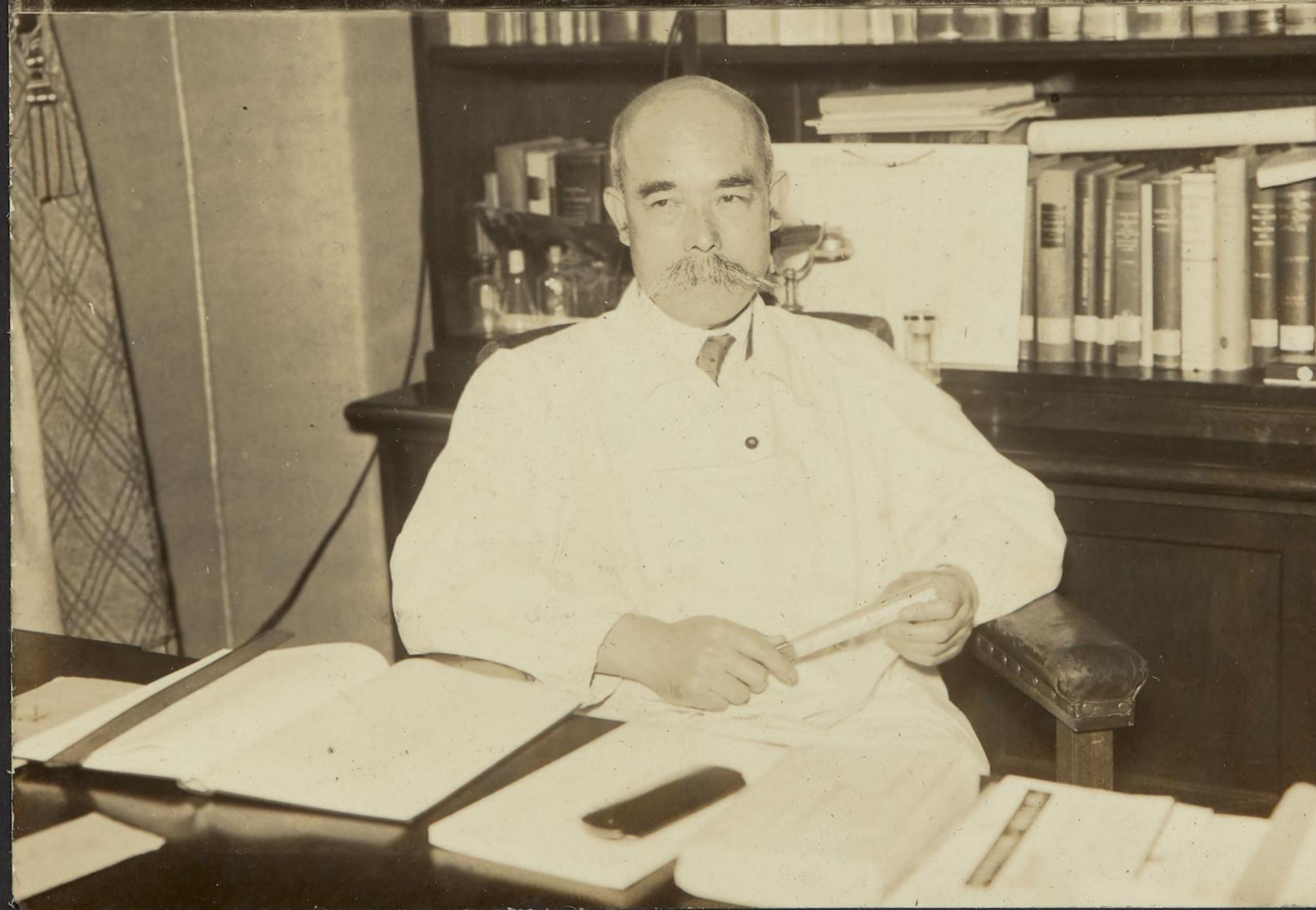


同盟寫眞 内地ニユース

第一一三號

（東京）十三年七月九日

衛生予防醫學の高級技術者を養成する我國最
初の専門教育機關厚生省の公衆衛生はロツク
フエラ財團の寄付になる三百五十萬圓の資
金で昭和九年目黒の傳研構内に竣工内部設備
の完了を俟つて今秋開所式を擧げることにな
り初代院長は東大名與教授林春雄博士に決定
した。寫眞は公衆衛生院と林初代院長





◎下元中將歸還
 北支戰線に於て拵々たる武勳を樹てた下元熊
 彌中將は九日午前八時東京驛着列車にて晴れ
 の歸還をした、搦顔に段線の勞苦を偲はせつ
 つ將軍は長女好子きん(二二)外二、三の親
 戚の出迎へを受け直ちに偕行社に入つた。
 寫眞は東京驛にて



◎吸口のないパツト
 九月から吸口のないパツトがお目通りする
 外箱は三分程つまり恰好はスマトになるが
 何事も節約と云ふ譯でこの煙草は舊來のもの
 と半々で賣出すが將來全部吸口なしにする
 六十萬圓以上の節約になるさうである
 寫眞は新パツト（右）と舊パツト（左）

同盟 亨真

海外三ノース



七月

ルイス、ラインの標騎兵の
挑戦、退き

(三ノース) 元同盟

世界の注目

ルイスの世界、重量選手権大会は

戦前の期待を裏切らず、シエタリングは

僅か二分、四秒、テリシカル、バウク、アウ

トの惨敗を喫した。

亨真

ルイス、猛打を浴かせ

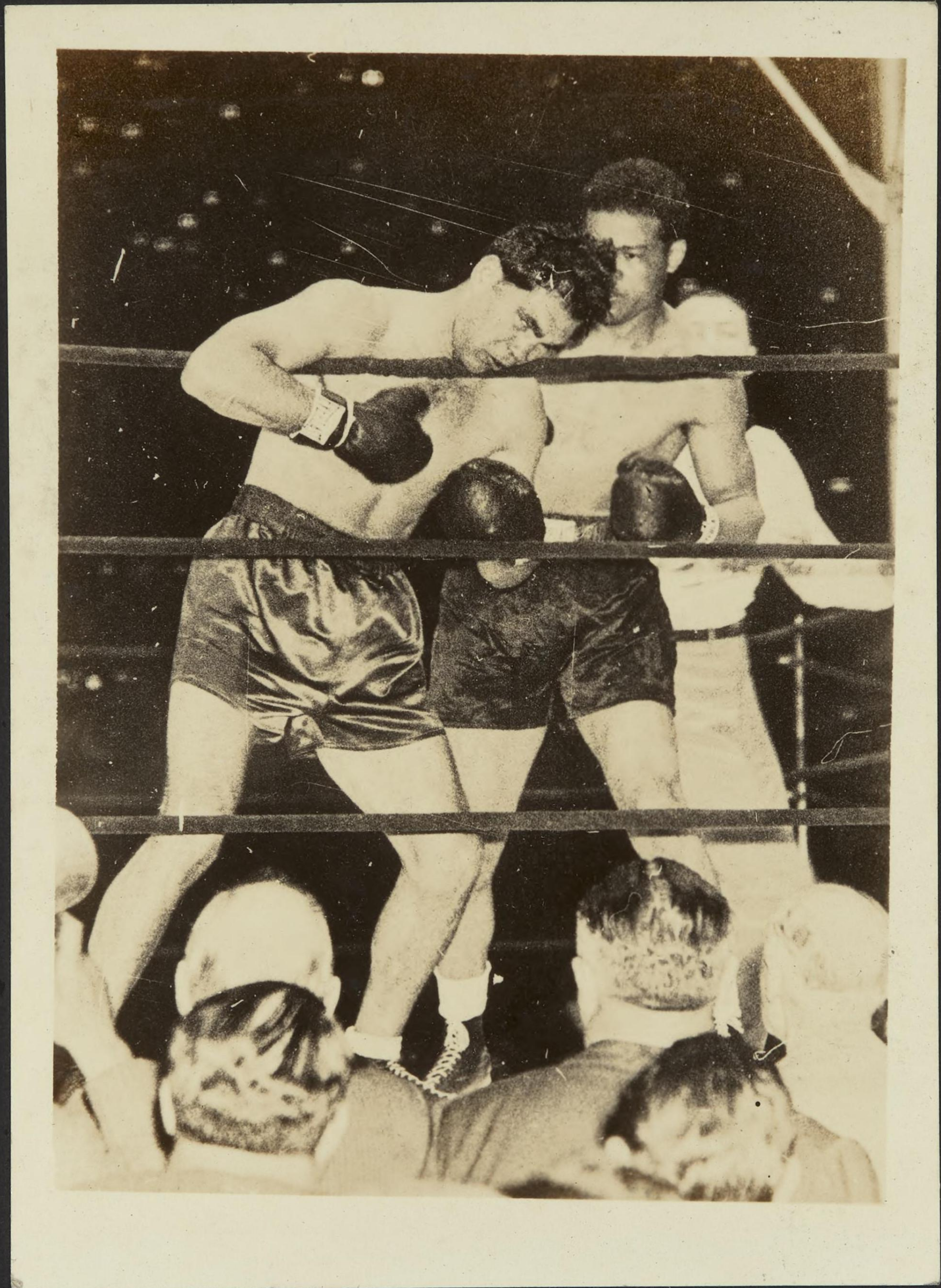
追詰む、シエタリングを口

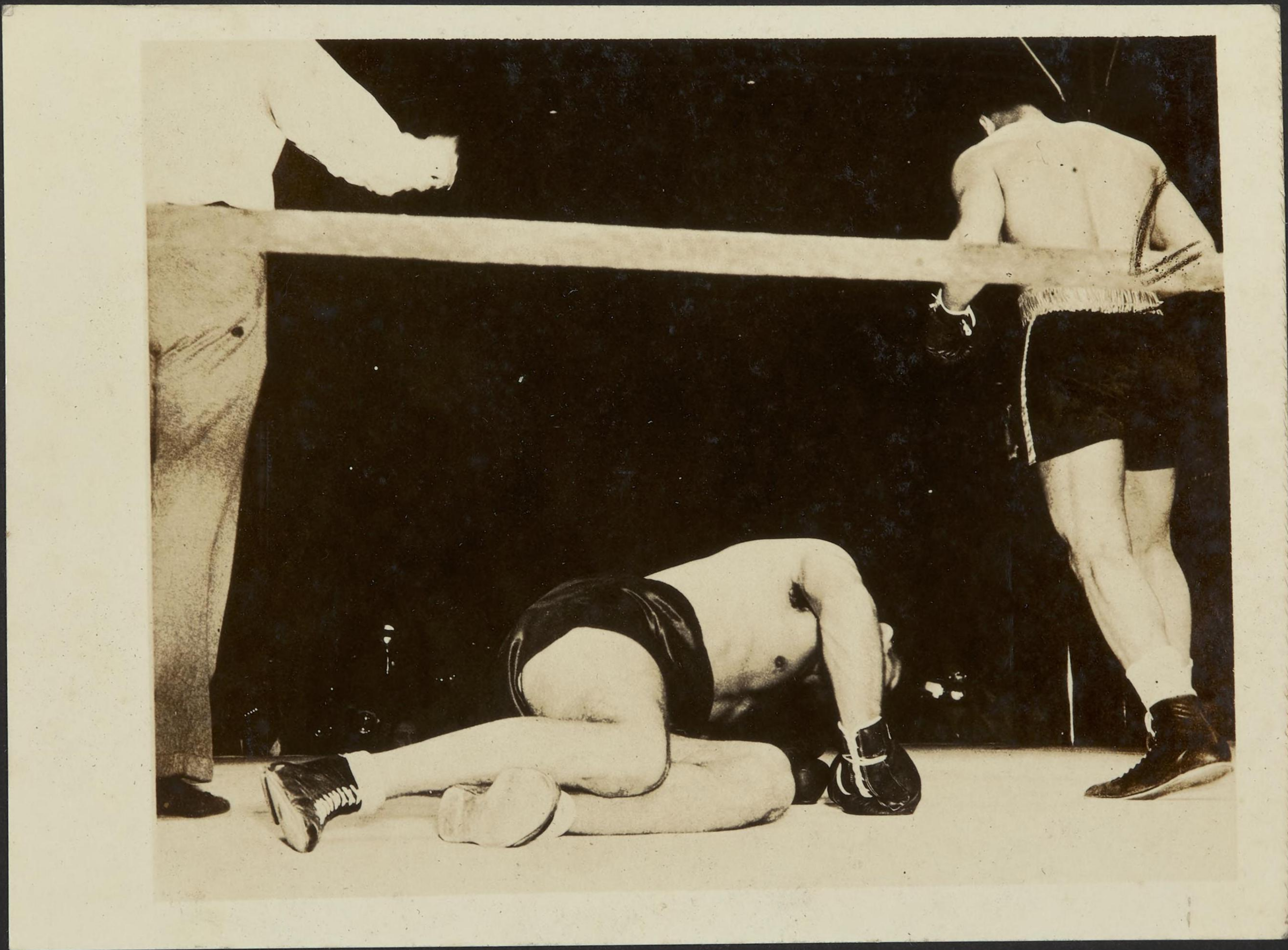
シエタリング

コスターより

新那。

タオルが投せられ人をす







◎新案リュックサック

(ロンドン) 発同盟

山のシーズンに必要なリュックサックに取付
けた簡単椅子

（ホノルル）發同盟
前獨帝の令孫ルイ。フエルデイナンド公は去
る五月四日新婚の夫人前露國のキリール大公
次女キィラ。キリロヴナ。羅馬ワと携へ
て世界一周蜜月旅行の途次六月二十九日ホノ
ルルに到着、公夫妻は約一ヶ月ホノルル滞在
の後八月五日横濱着のカナダ號で帰りの日本
を御訪問の筈。寫眞はホノルル着の公夫妻



同盟寫眞

内地ニュース

第四一五號

◎佐野周二君の壯行會

(東京) 十三年七月十二日

應召の松竹大船美男スター佐野周二伍長の壯行會は十一日夜大阪ビルのレインボーで催された。

寫眞は佐野伍長を圍むスター連



◎傷兵保護顧問會議
傷兵保護院では十二日午前十時半から厚相官邸に於いて第一回顧問會議を開いた。寫眞は右より野村大將、長與帝大總長、本庄總裁、奈良大將、結城日銀總裁

同盟寫眞 内地ニユース 第一二三

◎萬博非常會議
(東京) 十三年七月十二日
開催か不開催か行惱みの萬博は十二日の閉議や商工省議で決定を見るので同協會では午前十時より丸の内常盤で藤原會長以下出席非常對策を協議した。寫眞は右より小橋市長、藤原會長、青木横濱市長



◎八トンの疾克洋の途へ
僅か八噸の疾克ハンメル。ハンメル號で太
平洋を横斷しようと言ふロサンゼルスの開業
警見。A。ピーターソン氏(卅八)は愛妻の
吉原ためさん(三〇)水夫白系露人ベルミノ
フ(二五)エルモラエフ(二一)と四人で十
二日午前六時横濱を出帆壯途についた。
寫眞はジャンクと船長夫妻



○新益を迎ふる英靈
護國の章と歌つた三萬六千余の英靈の新益が訪
れた。各團では盆燈籠、菊、香爐等を奉
天邊族に贈つて新らに感謝を捧げた。
高橋は倉永部族長の遺族（上）友田伍長の遺族

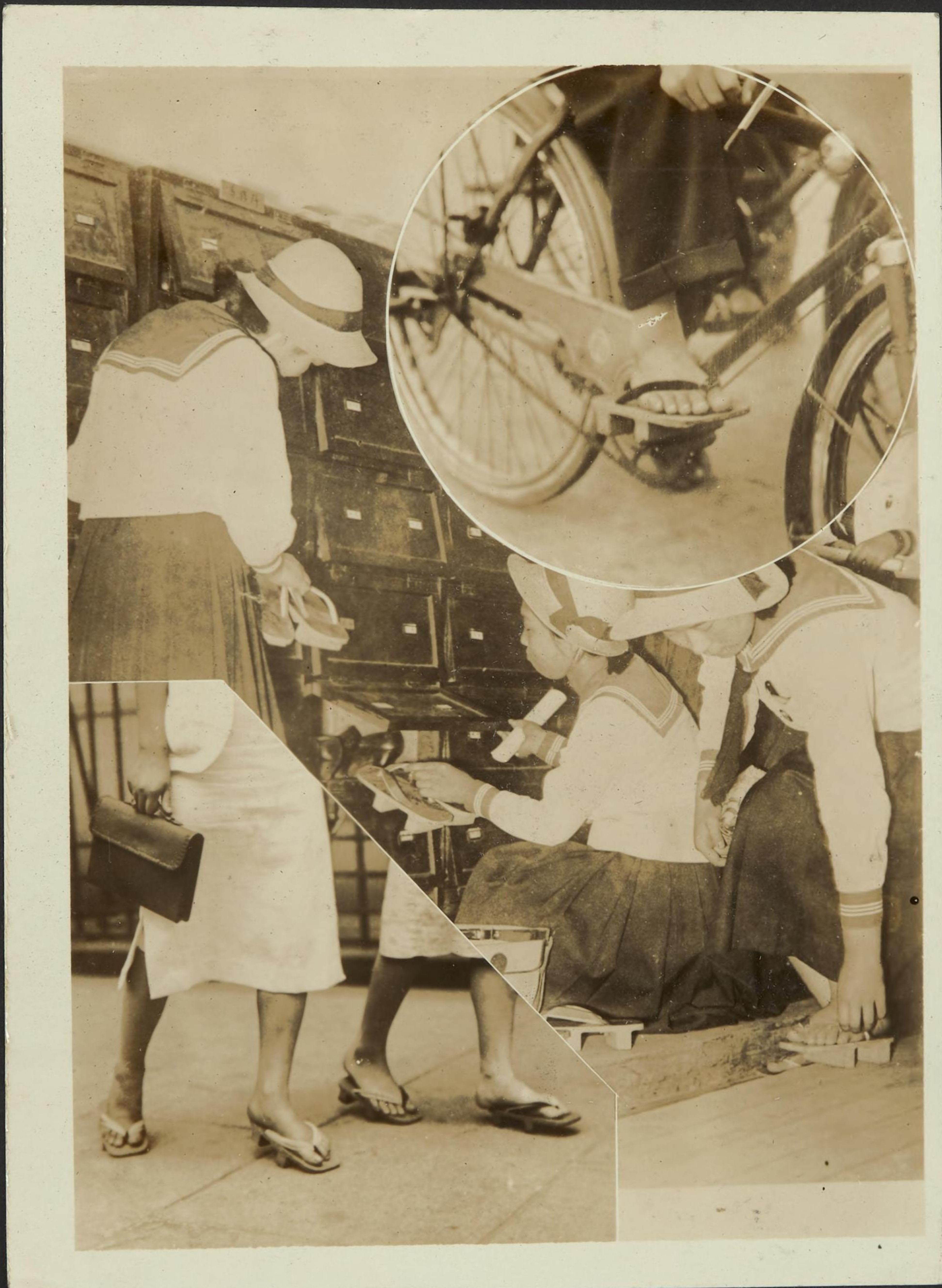


同盟寫眞
◎明大
自
内地ニユ
ス

第一四號

(東京) 十三
七月十四日
大日本國防自
動車協會學生
班を代表して
明大自
動車部では北
支慰問旅行を
計畫十四日午
后一時
明大前を出發
壯途に上つた
寫眞はその出
發





◎下駄履き時代出現
 國策は女性の足かちと今度下駄履き女學校が現
 はれた九段の日本女子商業學校では此程全校千
 二百名が下駄履きを申合せらるやちモガさんも又
 自轉車乗りも下駄履きと云ふ時代が再來した
 寫眞は下駄履き時代



血の旗風吹き流ぶソ聯を脱出、日本に亡命した
 リュンニン大尉は十三日午後三時赤坂山王ホッ
 ルに於いて記者と会見した。
 眞は記者と会見のリュン大尉

◎政府の正式通告は午後三時



◎日米學生代表來朝
第五回日米學生會議に出席の米國學生男女代表一行四十一名は十四日夜横濱入港日校丸で來朝した。寫眞は一行（上）とフアマートン・キャンベル兩嬢（下）



◎政府の正式通告は午後三時
 本戸厚相は東京大會問題に關し十五日午後三
 時官邸に下村、小橋經委會副會長並に永井
 事務總長を招致し重要なる懇談を遂げる事と
 なつた。眞は政府の正式通告（右より永井
 事務總長、下村氏、本戸厚相、小橋市長）

同照 二千八

西園寺公御殿

西園寺公任十五日筆不十時
共保多例年ノ爾ノ御殿場
辭 自 州 在

写其は興博契口



◎改良ガスマスク

(パリ) 發同盟

空襲の恐怖に備へて學生達も防空演習に大童だ
寫眞は最新の非常時服と防毒マスクを着けた學
生達



同盟

内地

三ノ六

七月十七日

防共富士登山隊出發

日独伊親善協会主催「防共盟邦
富士登山隊」の一行、独逸大使館トルクマン
書記官在任ヒツト、ユッケント代表 ライン
ホルト、シユルツ、向在利大使館ホーネス書
記官、滿州公大使于武官及ハカリー代表、スベ
ン代表、謀海至多金四ノ九、日本例老大学代表
三ノ流は十七日午八時三十分、折尾駅前車場
路に防共富士登山の途に就いて一行は十分
鐘前車迎を拜し防共親善義行神社に奉
納す。此は折尾出發の所



①

夏 素子 廿 悔 水 落 如
雪 典 付 由 此 悔 十 牌 亦 世 在 大 道



同盟寫眞

内地ニユル

第一一三號

◎防共富士登山隊山頂へ

(東京) 十三年七月十八日

(富士頂上發) 日獨伊親善協會主催防共盟邦

親善富士登山隊の一行は十八日午前七時三十

分富士山頂剣ヶ峰に到着、直ちに奥宮淺間神

社に參拜、各國國歌を合唱し、コミンテルン排

撃の宣言文を朗讀、皇軍將兵感謝の默禱を捧

げた後、防共額を淺間神社に奉納し、午前九時元

氣一杯で御殿場口に向つて下山の途についた

寫眞は富士山頂で萬歳(鳩便)





同盟寫眞

内地ニユース

第一四號

◎美術顧問會議開く
(東京) 十三年七月十九日
第二回文展開催非開催の鍵を握る美術最高顧問會議は十九日午前九時三十分文相官邸に於て開かれた。寫眞は於文相官邸

◎トマス博士歓迎會

昨年十月故國英國の反日的輿論を是正すべく急遽歸國正義日本の立場を故國の民衆に訴へ去る四日神戸入港の郵船で歸朝した文理大教授A.F.トマス博士の歓迎慰勞會は十八日夜山王ホテルで開かれた。寫眞は挨拶のトマス博士夫妻と大倉男

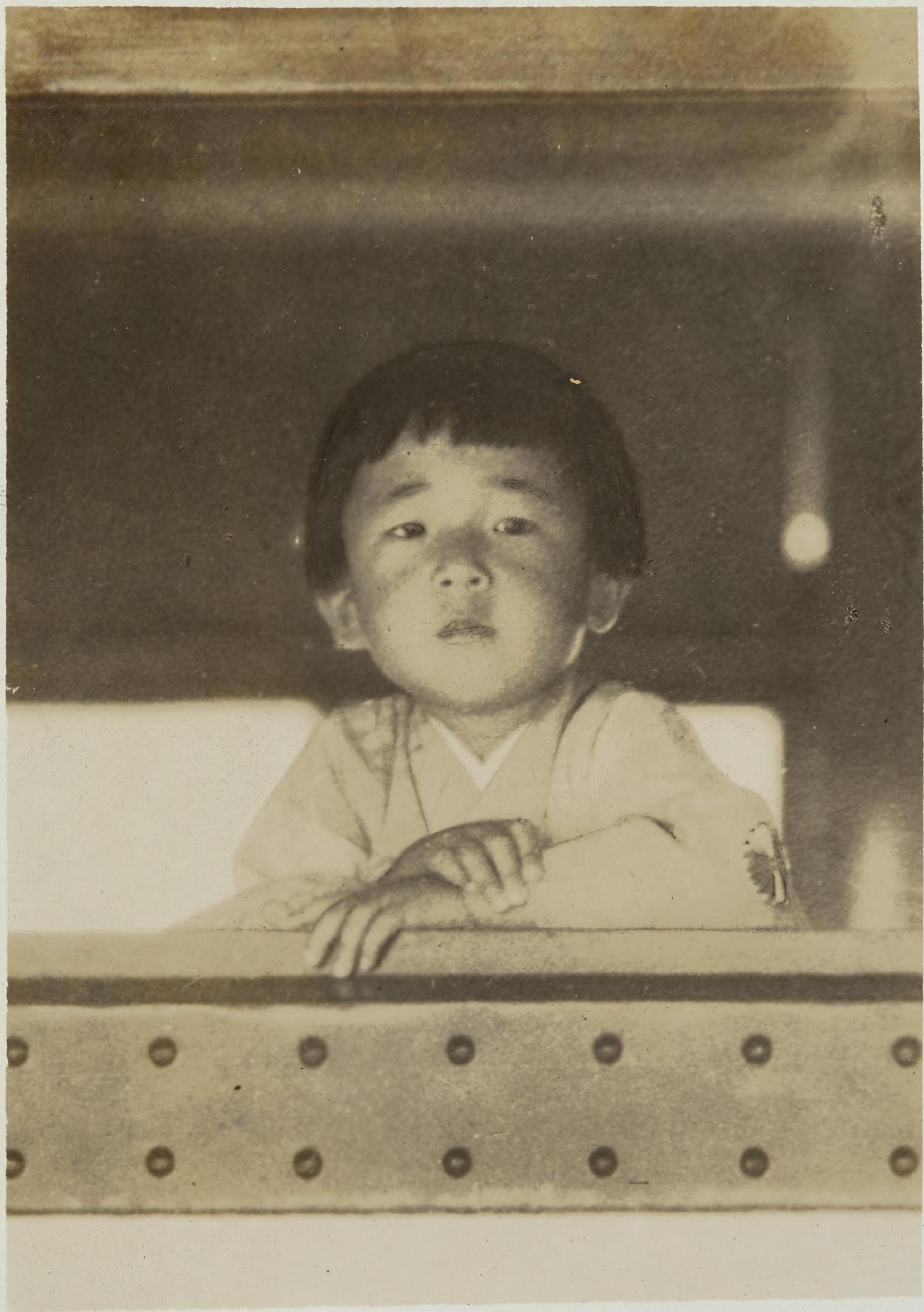


◎武勳の六將軍拜謁
 支那各戰線に輝やかしい武勳を樹て、歸還し
 た川岸文三郎、牛島貞雄、下元熊彌三中將、
 天谷、黒岩、鈴木三少將は十九日午前十時過
 相前後して參内十時半表御座所に於いて天皇
 陛下に拜謁仰付けられた。寫眞は向つて右か
 ら牛島、川岸、下元各中將（於東京寄）





◎芝浦港頭合同慰靈祭
中北支戦線に勇戦護國の鬼となり十九日午後
五時芝浦入港の〇〇船で故國に沈黙の凱旋の
八三六柱の英靈は廿日午前八時卅分から上陸
を開始、同九時から岸壁で嚴肅な合同慰靈祭
が行はれた。寫眞は芝浦埠頭に於て



同盟寫眞 内地ニユル
◎皇太子殿下日光行啓
（東京）十三年七月二十日
葉山御用邸に御滞在中であらせられた皇太子
殿下には廿日山手線御經由、午後一時廿分日
光驛御着車、御登の日光田母澤御用邸に行啓
あらせられた。寫眞は品川驛にて謹寫

第一一四號

同盟寫眞

内地ニユース

第一一三號

◎お釋 加 様の分骨渡來
 (東京) 十三年七月廿一日
 お釋 様の骨として世界佛教徒隨喜の的であ
 る佛舍利がシヤム國の勅願寺ライチャボピツ
 ト寺のチンナウオンシリワツト法親王から同
 國駐在公使館付武官として活躍この程歸朝し
 た海軍中佐中堂觀惠氏に託されて渡來近く信
 州の善光寺に奉遷することゝなつた。
 寫眞はライチャボピツト寺、法親王、中堂中
 佐と文書



The B&I, Wat Rajabopit.



多年小納ト親交凡溝上政憲氏ハ
 長野縣善光寺ニ佛骨ヲ奉安シ度キ
 希望ヲ持シ佛骨ノ分譲ヲ陳請セラレタル
 ニヨリ當禮拜所ニ於テ佛骨ヲ善光寺ニ
 奉遷ス因ツテ日本國民ハ永遠ニ尊崇
 禮拜アラントヲ希望ス

佛曆四七九年正月廿日(昭和十三年正月廿日)

ライチャボピツト寺クホルアング

チンナウオンシリワツト

譯

暹羅國駐劄帝國公使館附武官
 海軍中佐 中堂觀惠

◎小磯大將入京
名古屋に一泊した小磯國昭大將は廿一日午前
七時熱田神宮に参拜同九時五十六分名古屋發
午後三時二十五分東京着特急富士で入京した
寫眞は於東京驛



同盟寫眞

内地ニユース

第四一六號

◎女學生の勤勞奉仕

(東京) 十三年七月二十二日

酷熱の戦線に轉戦する兵隊さんをしのんで銃
後の女學生達が「私達も働きますせう」と炎天
下に汗の勞働奉仕です。

寫眞は九段の女子商業學校生徒の靖國神社清
掃と白衣の製作(同校)





池田 〇池田さんの代用品勉強
 商相のたぐいに廿一日の夕方大臣應接室
 でさゝやかな一代用品展が開かれた、ゴム
 も駄目か皮も使ふなと連日の様に禁制の書類
 にハンコを捺しつゝけた池田さんは銃後の不
 自由をしるんでこの頃は決済の印を捺した
 びに淋しくなるばかりだ。としみ述
 懐してゐた。寫眞は代用品に見入る池田さん



滿洲國赤十字社創立に伴ふ日滿協定調印式は
廿二日午前十一時赤十字社本部にて中川副社長
外關係者と滿洲國代表孫民部大臣（來朝中）
との間に行はれた。
寫眞は調印式を終つて中川副社長と握手する
孫大臣、中央は滿洲國大使

|| 日滿協定調印 ||

◎ババになつた黒豹

(東京) 十三年七月二十三日

先年檻を破つて暴れ出し上野一帯を縮み上ら

せた例の黒豹君も今度はよきババとなつて動

物園の人氣者となりました。三匹のよち

歩きをする赤ちやんに眼を細める父さん豹に

はかつての暴君の面影はありません

寫眞はお目出度の黒豹と古賀園長(中央)

◎丸木舟で南支那海三千五百海里

大木の胴をくり抜き帆柱を立てただけの貧弱

な手製の丸木舟で蘭領スマトラから臺北まで

南支那海三千五百海里を横断した大森の島田

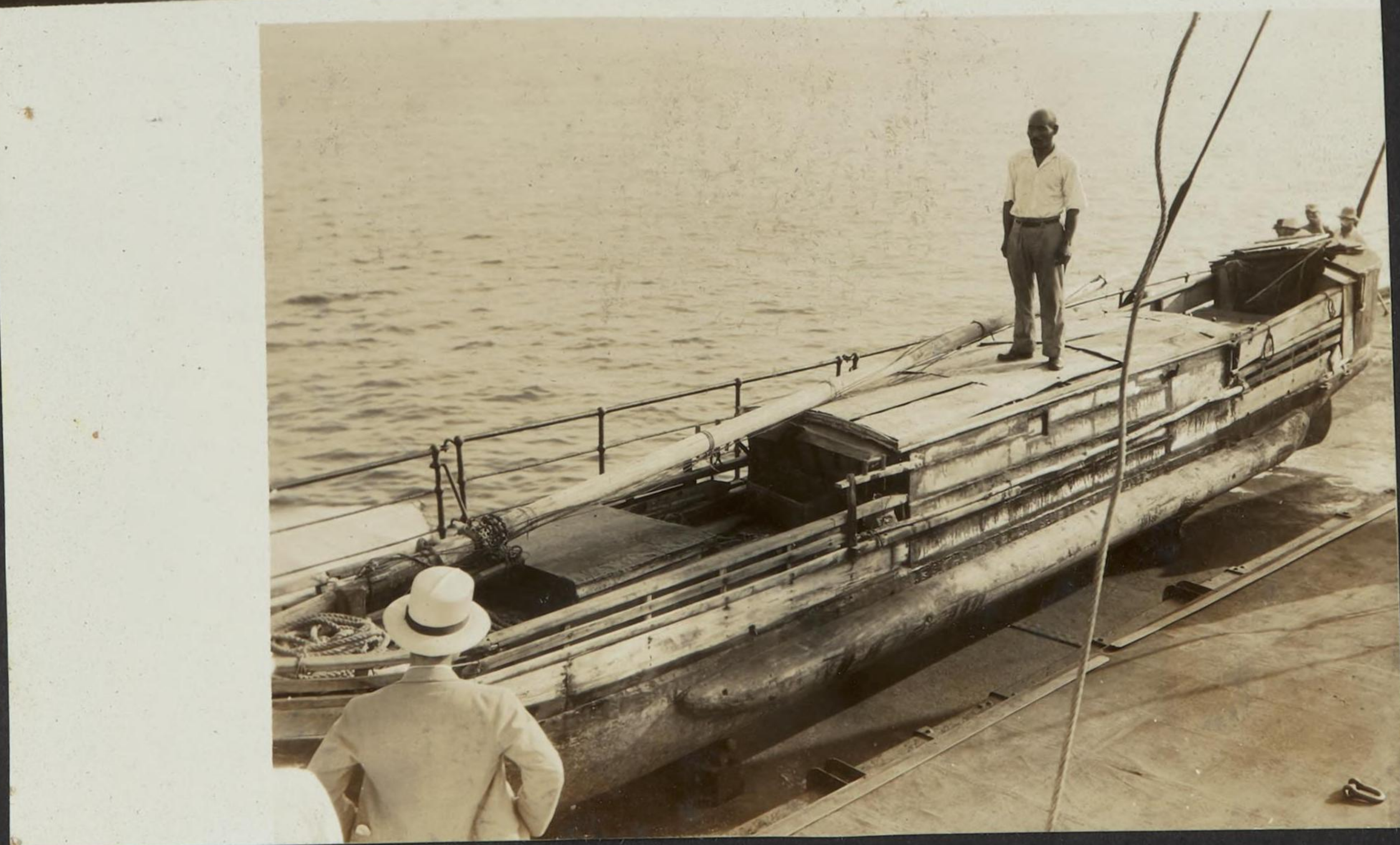
誠重(五三)氏を乗せた大阪商船グラスゴウ

丸は自慢の愛艇ジャンビー丸(長さ三十六尺

巾四尺一ト半)を積んで廿三日午前五時名

屋から横濱に入港した。丸木舟

寫眞は島田さんとその丸木舟



◎海水浴サーヴィス
ウダル様を連日の暑さに水銀柱は上昇の一方
だ。海水浴にもプールにも行けない恵まれ
ぬ児童達のために東京市公園課児童係では海
水浴サーヴィスと云ふ譯でホースから涼しい
シャワーをジャアジャア。
写真は大喜びの児童達



同盟 寫眞ニュース 第一號 七月二十四日

◎青少年宿舍を建設

厚生省では現下の時局に鑑み青少年の体力向上を圖るため全國に九十四ヶ所の青年宿舍を新設することになり明年度豫算に五十六萬四千圓の國庫補助新設費を要求することになつた。この宿舍は各府縣に二ヶ所宛建設する方針で建設費の二分の一を國庫で補助し各市町村等の公共團體をして經營せしめる

寫眞は
青少年宿舍の模型圖



同盟 寫眞ニュース 第二號 七月二十四日

◎熱科學研究所落成式

かねて小石川區小石川町一、後樂園側に建築中であつた財團法入熱科學研究所は廿四日午前十時から各方面の人々を招いて落成式を行つたが目下來朝中の滿洲國民政部大臣孫其昌氏も參列、理事長小穴博士の案内で熱療法に關する諸設備を巡覽した

寫眞は

小穴博士の案内で諸設備を巡覽の孫民政部大臣（中央）



合 ◎女子柔道講習始まる
これからの日本女性には柔道の一手位は知つてか
かねばと廿五日から卅一日まで一週間講道館に
一女子柔道指導者夏季講習會が開かれた、参
加者十三名、毎日午前八時から午後三時まで汗
まみれになつて一生懸命の猛練習。
寫眞はその講習



◎全日本溪流カヌー競技大會
本邦最初の全日本溪流カヌー競技大會は快晴に
恵まれた廿四日厚木、相南大橋間一萬五千米コ
スに於いて舉行、午前十時半相模橋を卅秒間隔
のゼッケンでカナディアン、フアルト、カヤツ
クの順で夫々出發、四米の水流に流されつゝ各
種目とも不馴れをコースとも思はれぬ程張切つ
た好レースを展開した。寫眞は溪流カヌー槍試



同盟寫眞 海外△ニユース 十三年七月廿六日

◎肉彈三美人

(ロザ・インゼルス) 發同盟

健康と夏!! 眞夏の太陽を浴びて ロング・ビーチで花火に戯れる ワイナー・ブラザースのスター (左より) ケイ・ウインターズ、ジヤン・ホーム、スザン・ヘイワード 諸嬢の嬌姿



同盟寫眞 内地ニユース 第一一三號

（東京）十三 年七月二十六日

照宮様には暑中休暇後も廿三日まで女子學習

院に御遁學、白衣裁縫の勤勞奉仕に御參加あ

らせられたが、廿六日から孝宮、順宮兩内親

王様とお揃ひで午前九時廿四分東京驛發電車

にて同十時廿四分返子驛御着車御豫定の如く

葉山御用邸附屬邸に入らせられた

御寫眞は東京驛にて謹寫